



# わが故郷に帰れる日 汽車は烈風の中を突き行けり。

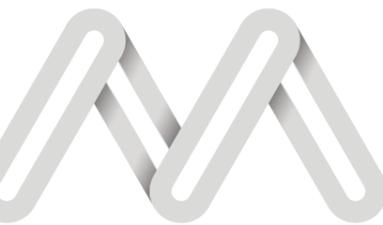
— 萩原明太郎 「帰郷」より

4月はあなたにとってどのような季節ですか。入学や就職など、前橋で新しいスタートを迎える人。また、進学で慣れ親しんだ前橋を離れる人もいるでしょう。私たちの前橋が、新しい人を迎え、再び帰りたい郷土であり続けるため、本市では4月から「未来の芽創造課」(☎027・898・6513)が始動しました。

例えば一つは働き方改革です。UターンやIターン、移住など、定住者を増やし、郷土を再生する力を生み出すには、多様な働き方を奨励し、やりがいのある仕事を生みだし、この街が夢をかなえるステージであると示し続けなければなりません。前橋の未来の芽を育むため、民間の地域経営力を生かし、連携も進めていきます。

誇りや愛着を持てる郷土前橋を今一度創生する。それは、市民一人一人が新たな価値を創造し、発信していく、豊かで創造的な暮らしの、その先にあるのです。

未来の芽



未来の芽、めぶく、みんな、前橋。  
Mに込めた想い。赤城山にも見えます。  
広報まえばし「M」から、  
さまざまな物語を紡ぎます。

